

赤い色で鳥たちに アピール

秋から冬にかけて
赤い実をつける植物
を多くみかけます。



実を赤くする理由の

ひとつは、鳥に実の存在をアピールする
ためという説があります。

赤は昔から縁起のいい色と言われていま
すが、鳥にも魅力的に見えと言われて
います。赤い色は植物から「ここに美味
しい実がありますよ！さあ、食べに来て
ください」というメッセージと言えます。
赤い実をつける植物は、鳥を引き寄せて
実を食べさせ、遠くに運ばせて仲間を増
やします。日光や養分を親の植物と取り
合わなくてすむ種まきの方法なのです。



クロガネモチの実を食べるツグミ

秋が深まると北の方から渡っ
てくるツグミは、ミミズなど
のほかに、クロガネモチやハ
ナミズキなどの赤い木の実も
食べる姿がよく見られます。

【MEMO】

赤い木の実を さがしてみよう



鮮やかな赤い実は小鳥たちにとっては、
秋から冬の間の大切な食べ物です。
私たちは、赤い実のなる植物を「おめ
でたいもの」として古くから親しんで
きました。人も鳥もひかれる赤い実。
お気に入りの赤い実をさがして園内を
歩いてみませんか？

公園のきまり

- ・園内の生きものは採取したり、持ち帰らないようにし
ましょう。
- ・立ち入ってもよい場所か確認して観察しましょう。
- ・スズメバチに出合ったら、立ち去るまでじっと待ちま
しょう。



赤い木の実マップ

①ガマズミ



直径6~8mmくらい。10月ごろに熟しますが、鳥は寒い時期に少し食べにくるくらいです。実をジャムや果実酒にして食べることができます。

②モチノキ



直径1cmくらい。11~12月に熟しますが、鳥が食べにくるのは12月下旬です。実が美しいことから庭木としてよく植えられます。実がつくのはメスの木だけです。

③クロガネモチ



直径6mmくらい。11~12月に熟します。ヒヨドリ、ツグミ、メジロやジョウビタキが食べにきます。「鉄(くろがね)持ち」は縁起がいいと言われています。

花木園 赤い木の実マップ



園内には赤い実をつける木がいろいろなところに植えられています。花木園で赤い実をつける木や、実を食べにくる野鳥を観察してみましょう。木の特徴を覚えられたらほかの場所でもさがしてみてください。

④ゴンズイ

長さ1cmくらいの赤い袋ふくろのような果実の中に黒い種子が入っています。ヒヨドリやムクドリが食べにきます。真っ赤な果実が美しいため、公園などに植えられています。



⑤ハナミズキ

長さ1cmくらい。10月ごろに熟します。オナガ、ヒヨドリ、ツグミやジョウビタキなどが食べにきます。庭木や街路樹としてよく植えられています。



赤い実を食べにくる野鳥



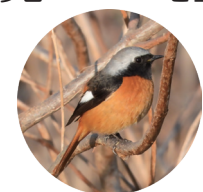
メジロ



ヒヨドリ



ツグミ



ジョウビタキ



シロハラ

など